



平成27年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成27年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第1四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第1四半期	8,965	△1.5	285	115.9	262	141.3	155	239.0
26年10月期第1四半期	9,102	△3.5	132	△52.5	108	△54.1	45	△43.7

(注) 包括利益 27年10月期第1四半期 160百万円 (233.4%) 26年10月期第1四半期 48百万円 (△41.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第1四半期	12.92	12.86
26年10月期第1四半期	3.83	3.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年10月期第1四半期	26,955	6,913	25.5	569.75
26年10月期	24,402	6,826	27.8	564.58

(参考) 自己資本 27年10月期第1四半期 6,868百万円 26年10月期 6,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年10月期	—	—	—	—	—
27年10月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,200	1.0	480	15.7	440	10.9	250	10.8	20.75
通期	35,300	4.1	880	423.5	800	654.0	460	—	38.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期1Q	12,688,000 株	26年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	27年10月期1Q	632,645 株	26年10月期	680,045 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期1Q	12,050,997 株	26年10月期1Q	12,004,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年12月の総選挙によって経済政策の継続が確認され、株式市場も伸長するなど、比較的堅調に推移しました。また、平成27年10月に予定されていた消費税率の再引上げも延期され、短期的には消費マインドにもプラスとなりました。

このような状況の中、当社グループは店舗運営力の強化および接客・サービスレベルの向上に取り組むとともに、「日常的エンターテインメント」をコンセプトに新しい発見や感動を味わうことができる魅力ある店舗を目指し、商品力の強化とライフスタイルを意識した提案性の高い売場づくりに注力してまいりました。

この「ライフスタイルの提案の場」につきましては、近年出店を推進しております大型複合店舗が先行し、周辺の既存店が売場の改装によってそれに続くという手順を取っております。大型複合店の出店で得られたノウハウを既存店に反映する形で、大小さまざまな規模の改装を実施し、常に新たな価値をお客様にご提供できるよう努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間においては新規の出店がなかったため、当該期間末のグループ合計店舗数は前連結会計年度末と同様の72店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,965百万円（前年同期比98.5%）、営業利益285百万円（前年同期比215.9%）、経常利益262百万円（前年同期比241.3%）、四半期純利益155百万円（前年同期比339.0%）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの軸である蔦屋書店事業において、タイトルに恵まれた音楽CDの売上が前年比114.1%と伸長したほか、文具売上は前年比105.6%、書籍も前年比100.8%と好調でした。しかしながら、レンタル部門が前年比83.3%と苦戦したことなどから、同事業の売上高前年同期比は98.4%（既存店99.2%）となりました。

利益面につきましては、仕入原価の見直しに取り組んだ結果、売上高の減少にもかかわらず連結売上総利益は前年同期比102.2%と増加しました。一方、経費削減努力の結果、販売費及び一般管理費は前年比96.8%に減少しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比215.9%の285百万円、経常利益は前年同期比241.3%の262百万円、四半期純利益は前年同期比339.0%の155百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,720百万円（前年同期比98.4%）、セグメント利益は257百万円（前年同期比217.0%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍100.8%（既存店98.9%）、文具105.6%（既存店104.1%）、レンタル83.3%（既存店93.3%）、販売用CD 114.1%（既存店113.9%）、販売用DVD 83.1%（既存店83.9%）となりました。書籍は、新店・改装店等が寄与しましたが、一部に苦戦した店舗もあり既存店ではわずかに前年同期を下回りました。文具は、話題商品、趣味文具、生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えが売り上げに貢献し、順調に伸長しました。レンタルは、価格改定と在庫見直しの過渡期にあり、全体として伸び悩みました。販売用CDは大型タイトルに恵まれて大きく売上を伸ばしましたが、販売用DVDはそのようなタイトルに恵まれず、売上高の前年同期比はマイナスとなりました。

②その他

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高247百万円（前年同期比100.8%）、セグメント利益は2百万円（前年同期比5百万増）となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比99.9%となりました。一方、スポーツ関連事業は、売上高前年同期比101.8%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比2,552百万円増加し、26,955百万円となりました。これは店舗用地の取得などで有形固定資産が増加したこともありますが、期末最終日が金融機関休業日に当たったため、支払日が翌営業日になり、現金預金の残高が一時的に増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2,465百万円増加し、20,041百万円となりました。これも総資産と同様に支払日が翌営業日になった事により、買掛金の残高が一時的に増加したことが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比87百万円増加し、6,913百万円となりました。これは主に、利益剰余金が65百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績が概ね計画通り推移していることから、平成26年12月4日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	637,075	3,088,614
売掛金	195,980	201,748
商品	9,185,449	9,272,805
前払費用	308,613	301,870
繰延税金資産	41,010	28,009
未収入金	334,877	472,804
その他	68,158	61,290
貸倒引当金	△290	△284
流動資産合計	10,770,877	13,426,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,964,091	2,902,970
土地	1,487,798	1,583,610
リース資産(純額)	3,741,660	3,851,473
その他(純額)	61,467	39,372
有形固定資産合計	8,255,017	8,377,428
無形固定資産		
その他	49,796	48,989
無形固定資産合計	49,796	48,989
投資その他の資産		
繰延税金資産	530,658	520,937
敷金及び保証金	3,765,730	3,705,762
その他	1,030,175	875,077
投資その他の資産合計	5,326,564	5,101,778
固定資産合計	13,631,379	13,528,195
資産合計	24,402,256	26,955,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,625,181	5,774,621
短期借入金	1,545,750	1,845,750
1年内返済予定の長期借入金	1,311,206	1,402,483
リース債務	652,742	718,397
未払法人税等	40,380	95,274
賞与引当金	45,000	26,500
未払金	508,417	663,105
その他	952,002	498,083
流動負債合計	8,680,679	11,024,215
固定負債		
長期借入金	4,489,123	4,606,456
リース債務	3,626,299	3,631,446
資産除去債務	468,394	470,306
退職給付に係る負債	93,790	88,710
役員退職慰労引当金	68,278	62,941
長期未払金	44,563	53,316
長期預り敷金保証金	104,829	102,365
その他	—	1,722
固定負債合計	8,895,279	9,017,265
負債合計	17,575,959	20,041,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	2,772,715	2,837,981
自己株式	△304,250	△283,062
株主資本合計	6,779,526	6,865,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	2,604
その他の包括利益累計額合計	△34	2,604
新株予約権	21,034	17,138
少数株主持分	25,770	27,849
純資産合計	6,826,296	6,913,572
負債純資産合計	24,402,256	26,955,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
売上高	9,102,872	8,965,150
売上原価	6,198,815	5,995,719
売上総利益	2,904,057	2,969,430
販売費及び一般管理費	2,771,716	2,683,718
営業利益	132,340	285,712
営業外収益		
受取利息	6,920	6,913
協賛金収入	46	4,706
その他	9,790	7,227
営業外収益合計	16,757	18,848
営業外費用		
支払利息	40,252	41,897
営業外費用合計	40,252	41,897
経常利益	108,845	262,663
税金等調整前四半期純利益	108,845	262,663
法人税、住民税及び事業税	32,822	83,648
法人税等調整額	30,116	21,278
法人税等合計	62,938	104,926
少数株主損益調整前四半期純利益	45,906	157,736
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△14	2,078
四半期純利益	45,921	155,657

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45,906	157,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,197	2,638
その他の包括利益合計	2,197	2,638
四半期包括利益	48,103	160,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,118	158,296
少数株主に係る四半期包括利益	△14	2,078

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,858,357	244,515	9,102,872	—	9,102,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	991	991	△991	—
計	8,858,357	245,507	9,103,864	△991	9,102,872
セグメント利益又はセグメント損失(△)	118,624	△3,698	114,925	17,415	132,340

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,720,032	245,117	8,965,150	—	8,965,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,249	2,249	△2,249	—
計	8,720,032	247,366	8,967,399	△2,249	8,965,150
セグメント利益	257,461	2,139	259,600	26,111	285,712

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	4,366,083	48.0	4,400,485	49.1	100.8
	レンタル	1,625,892	17.9	1,355,143	15.1	83.3
	文具	848,209	9.3	895,784	10.0	105.6
	販売用CD	566,178	6.2	646,103	7.2	114.1
	ゲーム	416,853	4.5	417,265	4.7	100.1
	販売用DVD	409,642	4.5	340,268	3.8	83.1
	リサイクル	93,913	1.0	96,822	1.1	103.1
	その他	531,584	5.9	568,158	6.3	106.9
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	8,858,357	97.3	8,720,032	97.3	98.4
その他	外部顧客に対する売上高	244,515	2.7	245,117	2.7	100.2
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	991	0.0	2,249	0.0	226.8
	計	245,507	2.7	247,366	2.7	100.8
合計		9,103,864	100.0	8,967,399	100.0	98.5

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、ブランクメディア、図書カード、賃貸不動産収入ほかであります。